

第 16 回かながわ高齢者福祉研究大会 開催レポート

やりたい介護がここにある あなたの力で明日を創る～

- この大会は、施設職員による実践や高齢者福祉にかかわる取り組みの発表を通し、共に学び合い、神奈川県の高齢者福祉の最前線を社会に発信することを目的に、神奈川県社協 老人福祉施設協議会が中心となり、毎年実施しています。
- 16 回大会は「やりたい介護がここにある あなたの力で明日を創る」をテーマに、研究発表 147 題、介護技術発表 19 題がエントリー。施設紹介・就職相談コーナーには 92 法人、協賛出展 34 社によるブースが設けられ、施設職員をはじめ、介護福祉士養成校学生など関係者ら約 2,000 人が参加しました。



16 回大会ポスター

新企画「優秀賞ポスター展示」「レクリエーション」「ロボット体験コーナー」

- 今回の新たな取り組みとして、研究発表では、前回大会の優秀賞 22 題について発表資料を紹介する『優秀賞ポスター展示』を実施し、高い評価を受けた実践内容について紹介しました。
- 介護技術発表では、新たに『レクリエーションの実践』部門を設け、観覧者も一緒に参加できる発表プログラムは「具体的で分かりやすく参考になった」「楽しかった」と大変好評でした。
- また、県産業振興課さがみロボット特区グループとの協働により開設した『ロボット体験コーナー』では、最新技術を駆使した介護ロボット（8種類）が展示され、使用方法の説明や体験ブースに多くの来場者が集まりました。

橋本厚生労働副大臣の視察訪問

- 大会当日は、厚生労働副大臣の橋本岳氏に越しいただきました介護技術発表「認知症ケア部門」をはじめ、多くの来場者で賑わう各プログラムの様子をご覧いただき、主催団体である本会老人福祉施設協議会の取り組みや介護現場の課題等について説明、意見交換を行っています。



介護技術発表



研究発表ポスター展示



施設紹介・就職相談コーナー



協賛企業コーナー



事業説明・意見交換



役員・実行委員長と橋本副大臣

審査の結果、25施設27発表が優秀賞を受賞

- この大会では、研究発表・介護技術発表の中から、特に高い評価を受けた発表に「優秀賞」を授与しています。第16回大会では、研究発表147題から23題、介護技術発表19施設から4施設が選ばれ、9月4日に優秀賞表彰式を開催しました。
- 受賞者のコメントでは、発表の準備にあたって苦心されたことや施設の協力を得て大会当日を迎えたことなど振り返りを踏まえ、受賞の喜びと感謝、今後に向けた抱負が語られました。
 - ・ [研究発表・介護技術発表 優秀賞演題・施設一覧はこちら](#) (PDF形式 221KB)



優秀賞表彰式の様子



受賞者と大会実行委員の皆さん

第1回関東地区高校生介護技術コンテストに協力

- 8月26日、県社会福祉会館にて、関東地区の高等学校で福祉を学ぶ生徒を対象とする「第1回関東地区高校生介護技術コンテスト」が開催されました。(主管校：県立津久井高校)
- 関東地区では初めて行われるコンテストを開催県として盛り上げ、神奈川の福祉の魅力を伝えていきたいと考え、本協議会では「パネル展示」「介護技術の実演」に協力しました。
- パネル展示では、16回大会の優秀賞のうち、研究発表7題を紹介。大会当日の発表資料や施設パンフレット、発表者からのメッセージを紹介しました。
- 介護技術の実演では、介護技術発表優秀賞施設がコンテスト課題を実演。介護現場で取り組む移動介助のポイントについて説明しました。
 - ・ [パネル展示の内容・発表についてはこちら](#) (別サイトにリンク)



パネル展示



介護技術の実演 (協力：特別養護老人ホーム陽だまり)

【かながわ高齢者福祉研究大会事務局】

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 社会福祉施設・団体担当
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館3階
電話045-311-1424 ファクス045-313-0747
大会ホームページ <http://www.kanagawafukushitaikai.jp/>

※第17回大会(平成30年度)は、「平成30年7月3日(火)」を予定しています。

■ 「かながわ高齢者福祉研究大会」について

- 神奈川県社協 施設部会 老人福祉施設協議会※では、毎年7月に「かながわ高齢者福祉研究大会」を開催しています。
- 県内の社会福祉法人が運営する高齢者福祉施設が中心となって企画・運営するこの大会は、“オールかながわ”の優れた介護技術を発表する場、日ごろの介護を振り返る場、次世代を担う学生に介護現場の最前線を発信する場となっています。



(上) プレゼンテーション形式の「研究発表」



(左) 実技型プログラム「介護技術発表」

- 大会では、すべての研究発表・介護技術発表について審査を行い、特に高い評価を受けた上位発表に“優秀賞”を授与しています。去る7月5日に開催した第16回大会では、研究発表23題、介護技術発表4施設が優秀賞に選ばれました。

■ パネル展示について（12：30 から閉会まで／2階講堂）

第16回大会優秀賞のうち、研究発表7題をご紹介します。大会当日の発表資料や各施設パンフレット、発表者から皆さんへのメッセージなどを準備してお待ちしています。

《展示発表》

※詳細は、別添資料のとおり

No.	発表題	施設名
1	大人も子どもも楽しめるデイサービス	横浜市永田地域ケアプラザ
2	いつまでも「美味しく」食べる楽しみを	特別養護老人ホーム 天王森の郷
3	「ちょっとお姉さん！！トイレ！！」	特別養護老人ホーム 鶴生園
4	福祉施設における事前指示書の意義	特別養護老人ホーム 中の郷
5	3法人合同職員育成事業	特別養護老人ホーム 寒川ホーム
6	介護のグローバル化に向かって	ななかまど
7	世界にひとつ！私だけの旅	介護老人福祉施設 平塚富士白苑

■ 介護技術の実演について（14:50 開始予定、約20分／4階コンテスト会場）

出場生徒の皆さんによる競技終了後、同会場にて、神奈川県内の福祉施設で働く介護スタッフの皆さんがコンテスト課題に挑戦します。介護技術の実演とあわせて、支援現場で取り組む“移動介助のポイント”をご紹介します。

《協力》社会福祉法人ケアネット 特別養護老人ホーム陽だまり 介護職員の皆さん

※第16回大会 介護技術発表「移動介助(トランスファー)」部門 優秀賞受賞

※ 神奈川県社協 施設部会 老人福祉施設協議会とは

- 県内施設の連携のもと、高齢者の尊厳を支え、安心して豊かに生活することのできる福祉施設の機能を高めていくことを目指し、老人福祉施設協議会を組織しています。(会員数336、H29.7現在)
- 本協議会では、神奈川県内4団体(神奈川県高齢者福祉施設協議会、横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会、相模原市社会福祉協議会高齢者福祉施設部会)と連携して取り組みを進めています。



今回ご紹介する8施設の所在地